

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 1月 31日

事業所名 チャイルドハート東海みらい木曾川

		チェック項目	はい	いいえ	事業所回答
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		死角も少なく1フロアになっている。学習室も、あり、クールダウンが出来る場所もあります。
	2	職員の配置数は適切である	4		利用人数にあった配置基準になっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		トイレ以外に大きな段差はありません。ロッカー等の角にはクッション材をつけていたり、床もジョイントマットを敷いており、安全に配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		朝礼の際に業務予定を共有し、支援目標も設定している。支援後も情報共有や話し合いを行っています。個人のPDCAは児童発達支援管理責任者が面談しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		職員全員で共有、話し合いをし、出来る範囲で改善を行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		チャイルドグループのHP、ワムネットにて結果を公表しています。保護者様に回答をお配りしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			実施していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		コロナ禍になり、ZOOM研修や実践研修の他さまざまな研修に参加し、その後事業所で報告をし、支援の質の向上に努めています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		モニタリング時に保護者様と話し合い、全職員で共有し、子供の発達に合ったサービス計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		使いやすいように改善し、使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		担当者が中心となり、考えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		担当者が中心となり、意見を出し合い、固定化しないようにプログラムをアレンジしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		毎日目標を決めて支援しています。平日に出来なかったことを休日や長期休暇に行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		職員全員で話し合い、子供の状況に合わせて計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		朝礼時、1人1人の目標を決めています。職員の役割分担も決めてい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		記録、業務日誌を記入する際に振り返りや支援方法の共有、対策案を話しあっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		子ども同士のやり取り等も記入し、次の支援につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4		半年に1回はモニタリングを実施し、全職員で現状把握をし、課題を見出しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4		参考にしながら活動を行っています。

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	児童発達支援管理責任者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	毎月おたよりをお渡し、みらいでの様子を情報共有をしています。トラブルがあった場合はすぐに連絡し対応しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	対象者はなし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	相談事業所経由で情報共有したり、同じグループの事業所の場合は土曜日や長期休暇で交流の場を作り相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	今年度は対象者なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	毎月1回モニタリングをお渡し情報共有をしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	公園で一緒になることはありましたが、交流することはありませんでした。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	年に3回部会に出席しています。 (今年度もZOOMで参加しています)
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	連絡帳に記入したり、送迎時にお伝えしています。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	毎月のおたよりやお茶会、送迎時にお伝えしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	契約時にお話しています。不明な点があれば、その都度説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	職員間で共有・検討をし助言を行っています。
	32	お茶会やパパ会等の開催により、保護者同士の連携を支援しているか	4	毎月1回は開催しています。(長期休みを除く)同じ学校や学年の保護者様同士が連携が取れるよう配慮しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	状況を確認し保護者様に連絡しています。報告書を作成し改善に努めています。
	34	毎月のおたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	毎月のおたよりやインスタグラムで発信しています。お茶会や送迎時にもお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	書類、言動にも注意しています。書類を扱う場合はカラーファイルに入れわかりやすいように配慮しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	わかりやすい言葉に変換して伝えたり、書面に書いてお渡ししています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	現在は地域のお店にお買い物体験に行き交流を図っております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	契約時にお伝えし、変更があればその都度周知しています。月に1回の全体ミーティングで共有、見直しをしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	年に3回(地震、火災、水害)避難訓練を行っています。緊急一斉メールのテストメールも送っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	研修にも参加し、定期的に研修も行い共通認識が持てるようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	対象者はいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	モニタリング時等で定期的に確認し、アレルギー表を更新しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	毎月の全体ミーティング、3店舗合同のミーティングでも共有しています